

人材育成に関する助成事業

社会の国際化、情報化等に伴い、国民ニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維

持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、以下に助成を行いました。

令和5年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学名	研究課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	道路舗装のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育	令和5年4月10日～ 令和5年12月25日
2	第一工科大学 工学部 環境エネルギー工学科	土木科高校生を対象とした伝統的治水技術の実践的学習	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
継続	長崎大学 大学院工学研究科 インフラ総合研究センター	新規建設業入職者を対象とした道守補助員コースの開催	令和5年5月1日～ 令和6年3月31日
継続	熊本大学 大学院先端科学研究部	熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト	

令和5年度 人材育成助成の実施状況

■九州大学大学院工学研究院 道路舗装のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育

道路インフラを効率的に建設・管理していく上で生じる技術的な課題について、九州大学等の大学院生を対象とした講義や実習を行いました。

DXを活用した高速道路および関連施設の整備・維持管理のための方針、具体的施策について約4ヶ月の調査・検討を行い、最終発表会を実施しました。



すべり抵抗測定器を用いた実習状況

■第一工科大学 工学部 環境エネルギー工学科 土木科高校生を対象とした伝統的治水技術の実践的学習

近年多発する豪雨災害への対策として、宮崎県立延岡工業高校土木科の3年生8名を対象に、伝統的な治水技術を実践的に学ぶ講義、現場見学、演習等を行いました。

8月の第1回授業では、河川堤防の基本的な機能の講義後、延岡市北川町家田地区の、霞堤、氾濫履歴の標柱、避難用の小舟などを見学するとともに、地域の方より氾濫時の状況などの話を聞くなど実りある貴重な課外授業となりました。



延岡市北川町における課外授業

■長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 新規建設業入職者対象の道守補助員コース開催

建設業に就職3年以内の若手技術者を対象とした道守補助員養成講座を11月30日に開催しました。産官の12人が受講し、県の道路の現状、橋梁・トンネル・舗装・道路斜面等の劣化等の説明を受けた後に、経験豊富な道守認定者がコンクリート橋の現場点検実習を実施しました。



座学の様子



斜面の点検

■熊本大学大学院 先端科学研究部 熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト

ユース水フォーラムくまもとは、SDGsの精神に則り熊本の水文化を世界に発信する高校生をサポートするために2021年3月に結成されました。

熊本の水文化を世界に発信する3分間の動画づくりを行う「熊本の水文化ゼミ」は、本年度三期目を迎え、7校46名の高校生たちが無事当プログラムを修了しました。

令和5年度は、一期生たちが大学生となって活動をサポートしたり、高校の枠を越えたチーム結成となるなど、活動にも新しい流れが生まれました。



プログラム修了の高校生たち